

緑化だより

No.75 平成24年8月号



ノウゼンカズラ 平成23年7月22日学習展示館裏

- 広島県の美味しいなば(5)
- 野鳥の世界(クロツグミ)
- もみじの話(5)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

時間延長のお知らせ

8月の土・日曜日は午後5時まで開園時間を延長します。

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

広島県の美味しいなば

(5) オオムラサキアンズタケ(大紫杏茸)

4月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げています。

今月はオオムラサキアンズタケです。

オオムラサキアンズタケは初秋にコナラを主とした雑木林内に群生する大型菌です。

全体が鮮やかな紫色を帯びているので、食用にするには気持ち悪く思われる人もいますが、県北などの道の駅では“ミミタケ”という名で他のきのこに先駆けて売られています。

このきのこは多数の傘が寄り集まり、短い柄を備え、高さは20cmに達することもあります。傘はへら状、扇形、ろうと型などで、縁の部分はやや波打っています。傘の裏はひだではなくしわ状になっています。肉は白く、しまっています。

料理法については、酢味噌和えにすると歯ごたえもよく食べられます。(川上)



オオムラサキアンズタケ

野鳥の世界

クロツグミ

野山の緑が一段と濃くなる夏至の頃、遅れて渡ってくるハトくらいの大きさで、全身が黒っぽい夏鳥です。

渡来当初の雄は声を響かせ、すばらしい声でさえずります。

晴れた日の午前中には日当たりの良い梢や大木の枝に止まり大きな口をあげ、息の長い声でさえずります。

ツグミの仲間は、どの鳥も素晴らしいさえずりをします。緑化センターでも、5月下旬ごろからさえずりが聞かれます。昨年までは、遊歩道や枯葉の堆積した場所などで採食する姿が見られましたが、今年は、さえずりは聞こえても姿がみられることはありません。源流域の谷筋にでも場所を移したのでしょうか？深い樹林を好む野鳥ですから、車の音や人の気配には敏感なのかも知れません。同じ仲間のトラツグミも姿をみるのが難しくなりました。

クロツグミもトラツグミも6月から7月にかけて巣作り、子育てをするため平素の何倍もの餌が必要になります。主にミズをヒナ鳥への給餌としているため湿った腐葉土の出来具



クロツグミ

合が繁殖活動を左右しているように考えられます。

又、クロツグミは、近くに生息しているオオルリ、キビタキ、ウグイス、メジロなどの野鳥のさえずりを上手に真似ます。クロツグミのさえずりが聞こえたら、よく注意して聞いてみてください。(吉見)

もみじの話(5)

カエデ

カエデはカエデ科カエデ属(Acer)の落葉木本です。

カエデはモミジともいいますが、紅葉する木の代表的な木のためその名があります。ちなみに「モミジする」は赤くなるさまを言い、カエデに限らず、「モミジする」木や草は20種以上あります。

奄美諸島や沖縄には常緑のクスノハカエデがありますので、カエデを落葉樹とするのは厳密には正しくないかもしれません。

葉は対生で翼の付いた種子で風まかせに着地し子孫を残します。翼の大きさや、開帳の角度は種類によって異なりますので、興味のある方は調べてみるのもよいでしょう。

広島県の県花・県木にもなっているカエデは種類も多く、日本では27種類が知られています。園芸品種は1,000種類を越すようです。

野生のカエデ27種類はそれぞれ生育分布域が異なり、特徴があります。亜高山帯を好むもの、山地帯に育つもの、平地でよくみるものなど色々です。この分布域を知ること、自生地で見つけがしやすくなります。

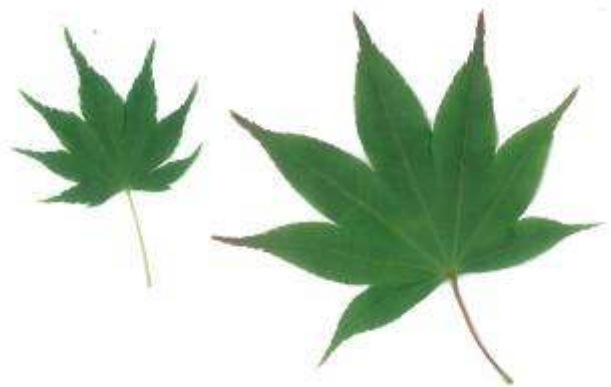
緑化センターの自然分布は平地から山地帯に入りますのでイロハモミジ、オオモミジ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、ウリハダカエデ、ウリカエデ、ヒツバカエデ、カジカエデ、メグスリノキ、チドリノキ、などが分布域になります。オオモミジは太平洋側、ヤマモミジは日本海側に自生します。

これらカエデ類のうち、最も一般的なものはイロハモミジで、葉の切れ込みは5枚7枚9枚とあり一般には7枚が多いようです。

葉のふちは重鋸歯でオオモミジの単鋸歯と区別します。

カエデ類は葉が薄く、弱い光も光合成に役立てるよう、枝は横に広がり、薄い葉をいっぱい広げ、光を当てやすくしています。光合成が十分だと、生育はもちろん、秋の紅葉もよくなります。

今月号でも同じことを述べますが、8月はカミキリムシの活動が一段と活発になります。幹や枝にカミキリムシが穴を開けて木くずを出していないか、注意深くチェックしましょう。この対策と、極端に乾燥させないことが今月のポイントです。(正本)



イロハモミジ(左)とオオモミジ(右)の葉の違い

研修会のご案内

- 8月 5日(日) 『ボタニカルアート教室』 10:00～12:00 学習室集合
植物を描くコツを学ぼう! 講師: 広島ボタニカル・アート・ソサィエティ 会員
※ 鉛筆、色鉛筆、消しゴム持参
- 8月 18日(土) 『名水分析から学ぶ名水あれこれ』
名水は語る～水は心～ 10:00～12:00 学習室集合
講師: (有)名水バイオ研究所主任研究員 森川 博代
- 8月 19日(日) 『夏休み木の実木の枝工作教室』
小枝を使って人形を作ろう 10:00～12:00 学習室集合
※ 要予約・先着20名 講師: 手作り工房 いっちゃん 隅田 五雄
- 8月 26日(日) 『水分峡観察会』 10:00～12:00 水分峡駐車場集合
初めての園外での観察会です 講師: 環境カウンセラー
※ 要予約(締切り8月24日)・現地集合 自然観察指導員 和田 秀次

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

お 礼

『広島県庁キャラクター総選挙』では、“モーリー”を応援いただきましたが、“ブンカッキー”に続き2位という結果に終わりました。皆様のご協力有難うございました。

◎ 展示会のお知らせ

展示場所: 学習室

世界の蝶展

8月7日(水)～8月17日(金)

世界の蝶8,000頭の展示をします。

展示場所: レストハウス

(ボード展示)

私の好きな緑化センター写真展

8月9日(木)～9月9日(日)

写真同好会による緑化センターの写真の展示をします。

(ガラスケース展示)

手作り工房 いっちゃん“木の実・枝作品展”

6月23日(土)～8月18日(土)

木の実や枝を使った手作り作品を展示しています。

フランス刺繍同好会作品展

8月22日(水)～9月26日(水)

フランス刺繍同好会の小物作品の展示です。



ゴライアストリバナエゲハ

表紙: ノウゼンカズラ科ノウゼンカズラ属

中国原産。平安時代に渡来し、栽培されていた記録がある。花は乾燥し、利尿、通経剤として利用された。

仲間にアメリカノウゼンカズラなど数種類ある。